

事業計画書

事業名	健康麻雀の普及による「認知症予防 及び 交流の場づくり」
実施場所	今沢地区センター及び 沼津市内各所
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 平成31年4月1日 ～ 新元号 年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

1. 沼津市内高齢者対象の健康麻雀講習会（出前講習）、体験会、及び 交流会を実施する。
2. 初心者、中級者、上級者別に麻雀技術、ルール、マナーを指導する。
3. 包括支援センター、介護施設等を訪問し、健康麻雀を楽しむ時間を作る。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

1. 65歳以上の高齢者を対象に「賭けない、吸わない、飲まない」をモットーとした健康麻雀を楽しむことで、脳の活性化、心身の健康保持、及び認知症予防をはかる。
2. 市内の他団体と交流することで、「仲間づくり、交流の場づくり」を促進する。
3. 引きこもりを無くし「健康の増進と健康寿命」を確保する。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
1. 麻雀技術講習会 (2回/月)	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 ・指導員による会員の麻雀技術レベルアップ ・初級、中級、上級にクラス分けし、クラス毎に麻雀技術を指導する。 ・健康麻雀ルール（ねんりんピック用）を指導する。 ・明るく楽しく行うために最も大切な「健康麻雀マナー」を指導する。
2. 体験会(1回/月) 市内各所にて	・市内各地区へ出向き健康麻雀をPRし、麻雀技術、ルール、マナーを指導する。 ・他地区の方と「仲間づくり」を促進する。 ・包括支援センター、介護施設等を訪問し、健康麻雀を楽しむ時間を作る。
3. 指導員の養成 (2回/年)	・指導員のレベルアップを図るため、外部講師による研修会を行う。

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
1. 認知症予防効果 健康麻雀の実施で脳が活性化し視聴覚の働きが良くなり、認知症予防効果が期待出来る。			
2. まちづくり、仲間づくりの推進 会のスローガン“いつでも明るく楽しく健康で”を実行し、まちづくりを推進する。			
3. 健康寿命の確保 引きこもりを無くし、健康増進を図り、健康寿命を延ばす。			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 1. 各地区会員数 30%UP 2. 各種活動回数 30%UP 3. 出席率の向上 80%以上	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 1. 前年度実績との比較 2. 参加回数、人数、成績結果 3. 個人別活動記録カードの作成

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 1. 認知症予防に効果があり、健康寿命が延びれば元気な高齢者まちづくりが可能となる。 2. 健康な高齢者が増えれば、医療費、介護保険料等も減少し、福祉関係予算の減少に繋がる。
地域性	※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 1. 沼津市の平均高齢化率は30.1%であるが、沼津市内でも地区によっては80～90%の地域もある。 2. 一人暮らし高齢者が多いことから「引きこもり」対策に有効である。
先導性	※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 1. 初心者には個別指導を取り入れ、楽しさと目標を与える。 2. 経験者もクラス別に分けて指導を行い、健康麻雀の普及に努める。 3. 交流会、対外活動を実施し「仲間づくり、まちづくり」を目指す。
発展性 ・ 継続性	※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 1. 指導員を養成することで、健康麻雀人口が増える。 2. 健康麻雀人口を増やすことで、元気なまちづくりが可能となる。 3. 地元で活動の場を作ることで気軽に参加出来るので、仲間が増えてゆく。
実現性 ・ 妥当性	※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 1. 健康麻雀人口を増やすため、体験会（出前講座）を実施する。 2. 指導員を養成することで、健康麻雀人口が増える。 3. 一部の介護施設では健康麻雀を楽しんでいるので、サポートしていく。
活動に対する 熱意	※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 1. 高齢者引きこもり対策として立ち上げた時は、会員が8人でスタートした。 2. 麻雀卓はコタツを持ち寄り、塩ビ管で足を継ぎ足し使用した。 3. 役員全員がボランティア（無報酬）で会の運営に携わっている。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

1. 市内の包括支援センター、介護施設等への訪問活動を増やす。
2. 来年度以降は、「沼津市健康麻雀選手権大会（仮名）」を開催。
3. このため、「沼津健康麻雀協会を設立」し、県東部地区の拠点とする。
4. 再来年には、「静岡県東部地区 健康麻雀選手権大会」を開催。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。